

授業科目名	【G】 道徳教育指導法 【H】 道徳教育指導法 【I】 道徳教育指導法	区 分	開講年次	【G】2 【H】2 【I】2	単位数	【G】2 【H】2 【I】2
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中一種免社会） 大学が独自に設定する科目（高一種免地歴・公民・情報）					
授業形態	対面開講					
担当形態	単 独	【G・H】 教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、 教員の免許状取得のための選択科目（高一種免地歴・公民・情報） 【I】 教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、 教員の免許状取得のための選択科目（高一種免地歴・公民・情報）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	道徳の理論及び指導法（中一種免社会）、 大学が独自に設定する科目（高一種免地歴・公民・情報）					
サブタイトル	道徳授業実践力の育成を目指して			担当者	柴田 克	
授業概要	【概要】	道徳教育は、人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、同時に民主的な国家・社会の持続的発展を根底で支える。小学校では2018年度、中学校では2019年度より道徳が教科化された。また高等学校では「公民科」や「特別活動」のホームルーム活動などを中心にして、学校の教育活動全体を通じて行うことになっている。 この授業では、その背景をしっかりと概説しつつ、教育活動全体で行う道徳教育、そしてその要としての「道徳科」の時間の効果的な指導法を模擬授業や毎回のグループ討議などのアクティブラーニングを通して学ぶことにより、人としてよりよく生きるために大切な道徳性の育成を図り、自分はどうのように生きるべきかを考え実践意欲と態度を身につけていく。				
	【到達目標】	道徳性とは何か、道徳教育の意義について説明できる。 22内容項目の諸価値について多面的多角的に説明できる。 道徳科において効果的な指導案を作成し模擬授業ができる。 グループワークにおいて道徳的諸問題について討議できる道徳的判断力を身につける。				
履修条件	「教育原理」及び「教職論」の単位取得者を前提とする					
アクティブラーニングの方法	【－】 事前学習型	【－】 反転授業	【－】 調査学習	【－】 フィールドワーク		
	【－】 双方向アンケート	【○】 グループワーク	【○】 対話・議論型授業	【－】 ロールプレイ		
	【－】 プレゼンテーション	【○】 模擬授業	【－】 PBL	【－】 その他		
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)				
他科目との関係	特になし					
教科書	授業中に適宜、資料を配付する					
参考書	『中学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 特別の教科道徳編』文部科学省 教育出版株式会社 『新しい道徳1』東京書籍株式会社(中1用道徳科教科書)					
評価方法	授業中のワークシート(40%) 授業後に毎回行う15回の小テスト(40%) 学習指導案(10%) 模擬授業(10%)での総合評価					
フィードバック方法	ワークシートについては毎回教員が採点・評価し次時に返却する。グループワークについての評価は授業中に行う。 小テストについてはCrassroom上で教員が採点・評価し返却するが全体で共有した方が良い内容は次時の授業最初に行う。 指導案はCrassroom上で教員が採点・評価し冊子を作成する。模擬授業についてが学生相互のコメントをつけてCrassroom上で教員が採点・評価して通知する。					
評価基準	上記授業内容についてこれをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容について理解や表現について不適切な部分があれば「B」または「C」、不十分であれば「D」または「E」とし、評価不能な場合は「F」とする。					

授 業 科目名	【G】	道徳教育指導法	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	道徳教育指導法			【H】2		【H】2
	【I】	道徳教育指導法			【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	道徳とは何かを説明し、現代社会における道徳教育の課題を考察する 予習: 自分の小・中学校時代の道徳授業についてまとめる 復習: 資料を各自でまとめ、道徳を説明し現代の教育課題を理解する						
2	子どもの心の成長と道徳性の発達段階について理解する 予習: ピアジェ、コールバーグ、アイゼンバーグについて調べる 復習: 配付された資料を各自でまとめ、道徳性の発達段階を理解する						
3	学校教育における「道徳教育」と「道徳科」の意義と目標を理解する (道徳が教科化された歴史的背景から考える) 予習: 学習指導要領P1-P25を読み日常生活で教材を発見する 復習: 配付された資料を各自でまとめ、道徳教育の意義目標を理解する						
4	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する1 A-①自主、自律、自由と責任 ②節度、節制 ③向上心、個性の伸長 予習: 学習指導要領P26-P31を読み日常生活で教材を発見する 復習: 配付された資料を各自でまとめA-1,2,3の諸価値内容を理解する						
5	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する2 A-④希望と勇気、克己と強い意志 ⑤真理の探究、創造 予習: 学習指導要領P32-P35を読み日常生活で教材を発見する 復習: 配付された資料を各自でまとめA-4,5の諸価値内容を理解する						
6	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する3 B-⑥思いやり、感謝 ⑦礼儀 予習: 学習指導要領P36-P39を読み日常生活で教材を発見する 復習: 配付された資料を各自でまとめB-6,7の諸価値内容を理解する						
7	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する4 B-⑧友情、信頼 ⑨相互理解、寛容 予習: 学習指導要領P40-P43を読み日常生活で教材を発見する 復習: 配付された資料を各自でまとめB-8,9の諸価値内容を理解する						
8	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する5 C-⑩遵法精神、公德心 ⑪公正、公平、社会正義 ⑫社会参画、公共の精神 ⑬勤労 予習: 学習指導要領P44-P51を読み日常生活で教材を発見する 復習: 資料を各自でまとめC-10,11,12,13の諸価値内容を理解する						
9	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する6 C-⑭家族愛 ⑮集団生活の充実 ⑯郷土愛 ⑰我が国の伝統と文化の尊重 ⑱国際理解 予習: 学習指導要領P52-P61を読み日常生活で教材を発見する 復習: 資料を各自でまとめC-14,15,16,17,18の諸価値内容を理解する						
10	道徳内容項目の諸価値を理解し、授業展開例を考察する7 D-⑲生命の尊さ ⑳自然愛護 ㉑感動、畏敬の念 ㉒よりよく生きる喜び 予習: 学習指導要領P62-P69を読み日常生活で教材を発見する 復習: 資料を各自でまとめD-1,2,3の諸価値内容を理解する						
11	道徳科学習指導案作成のポイントを学習し、模擬授業用の「道徳科学習指導案」を作成する力を身につける 予習: 学習指導要領P76-P85を読み日常生活で教材を発見する 復習: 模擬授業の「道徳科学習指導案」を作成する						
12	道徳科模擬授業をお互いに教師役、生徒役になって実施し、その振り返りを行うことにより授業改善の力を身につける① 予習: 「道徳科学習指導案」をよりよく修正する 復習: 模擬授業を振り返り、反省レポートを作成する						
13	道徳科模擬授業をお互いに教師役、生徒役になって実施し、その振り返りを行うことにより授業改善の力を身につける②(教師・生徒役の交代) 予習: 「道徳科学習指導案」をよりよく修正する 復習: 模擬授業を振り返り、反省レポートを作成する						
14	年間指導計画、別様の作成、道徳教育推進教師の役割、家庭や地域との連携方法などを理解する 予習: 学習指導要領P70-75,P80-103を読み日常生活で教材を発見する 復習: 資料を各自でまとめ推進教師の役割や家庭・地域連携を理解する						
15	道徳科の教材に求められる内容を確認し道徳教材開発の力を養い、さらには道徳の学習評価をする力を身につける 予習: 学習指導要領P104-P118を読み日常生活で教材を発見する 復習: 資料を各自でまとめ道徳の評価力や教材開発力を身に付ける						
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安としてください。						